
2021年度第3四半期（4～12月）決算について

2022年1月27日
北海道電力株式会社

ともに輝く明日のために。
Light up your future.



— 目 次 —

□第3四半期 連結経営成績・財政状態	．．．	2
□第3四半期 連結決算の概要	．．．	3
□2021年度 連結業績予想	．．．	4
□2021年度 期末配当予想	．．．	6
□参考資料	．．．	7

■ 第3四半期 連結経営成績・財政状態

経営成績（累計）

（単位：億円）

	当第3四半期 (A)	前第3四半期 (B) ※	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%
売 上 高	4,412	3,900	511	13.1
営 業 利 益	188	287	△ 99	△ 34.5
経 常 利 益	130	210	△ 79	△ 37.8
親会社株主に帰属する 四半期純利益	87	177	△ 89	△ 50.6
1株当たり四半期純利益	37 ^円 48 ^銭	81 ^円 09 ^銭	△43 ^円 61 ^銭	

※ 2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額については、収益・費用計上の対象外となりました。

本資料に記載の2020年度第3四半期実績については、上記変更を遡及適用し組み替えて表示しております。

財政状態

（単位：億円）

	当第3四半期末 (A)	前年度末 (B)	増 減 (A)-(B)
総 資 産	20,104	20,016	88
純 資 産	2,908	2,897	11
自 己 資 本 比 率	13.8%	13.8%	0.0%

■ 第3四半期 連結決算の概要

売上高 (増収)	卸販売が好調であったことや 燃料価格の上昇に伴う燃料費調整額の増加などにより、 前年同期に比べ511億円増加の4,412億円となりました。
経常利益 (減益)	発電設備に係る修繕費の減少や 好調な卸販売などによる収支の好転はありましたが、 燃料価格の上昇などにより、 前年同期に比べ79億円減少の130億円となりました。
親会社株主に 帰属する 四半期純利益	経常利益の減少に加え、 インバランス収支還元損失(※)を特別損失に計上したことなどにより、 前年同期に比べ89億円減少の87億円となりました。

※ インバランス収支還元損失

電力は常に需要と供給のバランスを保つ必要があり、小売電気事業者の発電と需要の計画に対して差異が生じた場合には、一般送配電事業者は、小売電気事業者へ電力を供給したことに伴う料金(インバランス料金)を小売電気事業者に負担いただいております。

2021年1月においてインバランス料金単価が一定水準を超える事象が発生し、その超えた部分につきまして、一般送配電事業者である北海道電力ネットワーク(株)は、小売電気事業者の将来の託送料金から減額することといたしましたので、その見込額を臨時的な措置であることを踏まえ、特別損失に計上しました。

■ 2021年度 連結業績予想

2021年度通期の連結業績につきましては、至近の動向を踏まえ、2021年10月28日に公表した連結業績予想を修正いたしました。

(単位：億円、億kWh)

	2021年度見通し			今回見通し 対前年度増減(※)
	今回公表 (A)	10月公表 (B)	増減 (A)-(B)	
売上高	6,490程度	6,330程度	160程度	640程度
営業利益	200程度	200程度	同程度	△340程度
経常利益	110程度	110程度	同程度	△300程度
親会社株主に帰属する 当期純利益	70程度	90程度	△20程度	△290程度
(対前年度増減率) 小売販売電力量	(△2.8%程度) 221程度	(△1.1%程度) 224程度	△ 3程度	△ 6程度

2021年度第1四半期から、収益認識会計基準等の適用に伴い、電気事業会計規則が改正され、再生可能エネルギー固定価格買取制度に関する影響額について、収益・費用計上の対象外となります。

※なお、対前年度増減は、2020年度実績について上記変更を適用したものと仮定して算定しております。

【新型コロナウイルス感染症の影響】 2021年度の新型コロナウイルス感染症の影響により、北海道内の景気は引き続き厳しい状況にあるため、小売販売電力量において、前年度と同程度の△4億kWh程度と見込んでいます。

【主要諸元】

為替レート (円 / \$)	112程度	110程度	2程度	6程度
原油CIF価格 (\$ / bl)	75.0程度	75.0程度	同程度	32.0程度

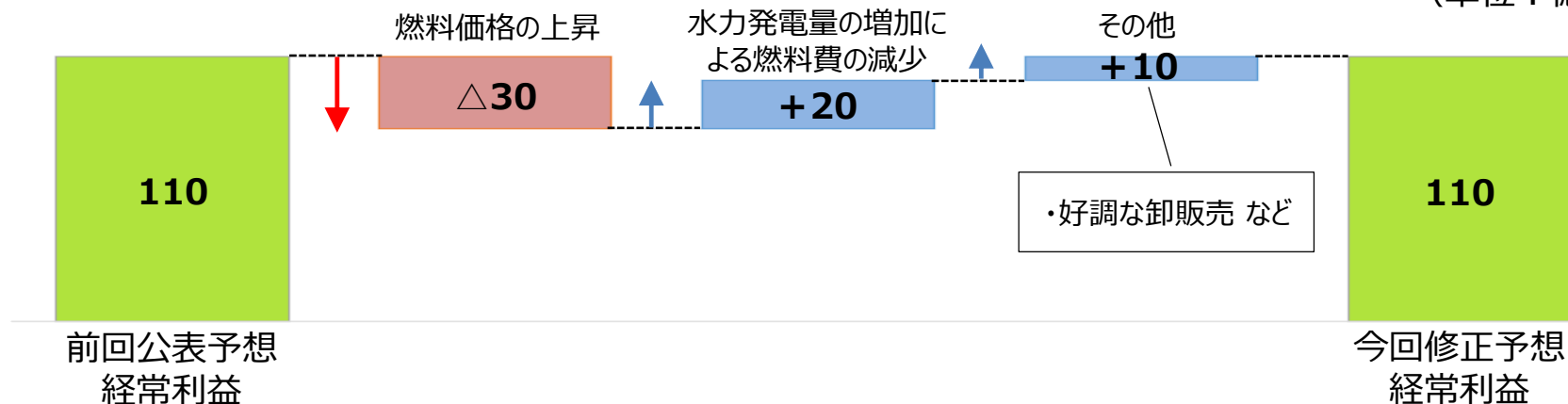
※1月以降、為替レートは115円/\$程度、原油CIF価格は80 \$ /bl程度と想定しております。

■ 2021年度 連結業績予想の修正概要

小売販売電力量	北海道経済が引き続き厳しい状況にあることや 11月～12月中旬の高気温による暖房需要の減少などを反映し、 10月公表値に比べ3億kWh減少の221億kWh程度となる見通しです。
売上高	卸販売が引き続き好調に推移することが見込まれるため、 10月公表値に比べ160億円増加の6,490億円程度となる見通しです。
経常利益	燃料価格の上昇に伴う収支の悪化はあるものの、 水力発電量の増加による燃料費の減少や 卸販売が引き続き好調であることなどにより、 10月公表値と同程度となる見通しです。
親会社株主に帰属する当期純利益	インバランス収支還元損失を特別損失に計上したことにより、 10月公表値に比べ20億円減少の70億円程度となる見通しです。

< 経常利益の変動要因（対10月公表比較） >

（単位：億円程度）



■ 2021年度 期末配当予想

2021年度の期末配当予想につきましては、2021年10月28日に公表した予想値から変更はありません。

【1株当たり配当金】

	普通株式			B種優先株式		
	中間	期末	年間	中間	期末	年間
2020年度 (実績)	5円	15円	20円	1,500,000円	1,500,000円	3,000,000円
2021年度	10円	(10円)	(20円)	1,500,000円	(1,500,000円)	(3,000,000円)

※2021年度の（ ）内は予想値。

■ 参考資料

- ・連結収支比較表（全体）
- ・連結対象会社
- ・販売電力量（連結）
- ・供給電力量（連結）
- ・連結収支比較表（収益）
- ・連結収支比較表（費用・経常利益）
- ・連結セグメント情報
- ・連結経常利益の変動要因（対前年同期比較）

業績予想

- ・連結経常利益の変動要因（対前年度比較）

連結決算－収支比較表

(単位：億円)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
経常 収益	営業収益（売上高）	4,412	3,900	511	13.1
	電気事業営業収益	4,127	3,623	503	13.9
	その他事業営業収益	284	276	7	2.8
	営業外収益	46	13	32	237.4
合計		4,458	3,914	544	13.9
経常 費用	営業費用	4,223	3,612	610	16.9
	電気事業営業費用	3,972	3,361	610	18.2
	その他事業営業費用	251	250	0	0.0
	営業外費用	104	91	13	14.4
合計		4,327	3,703	623	16.8
[営業利益]		[188]	[287]	[△ 99]	[△ 34.5]
経常利益		130	210	△ 79	△ 37.8
渴水準備金引当又は取崩し		0	△ 4	4	－
特別損失		15	－	15	－
税金等調整前四半期純利益		114	214	△ 99	△ 46.6
法人税等		23	35	△ 12	△ 35.4
四半期純利益		91	178	△ 87	△ 48.8
非支配株主に帰属する四半期純利益		3	1	2	217.1
親会社株主に帰属する四半期純利益		87	177	△ 89	△ 50.6
(参考)	四半期包括利益	82	203	△ 120	△ 59.2

連結子会社		持分法適用会社
北海道電力ネットワーク(株)	北海道電気工事(株)	北電総合設計(株)
北電興業(株)	北海道パワーエンジニアリング(株)	(株)ほくでんアソシエ
苫東コールセンター(株)	ほくでんエコエナジー(株)	石狩LNG棧橋(株)
ほくでんサービス(株)	北海道総合通信網(株)	
ほくでん情報テクノロジー(株)	北海道電力コクリエーション(株)	

連結決算－販売電力量

- ・小売販売電力量は、引き続き積極的な営業活動を展開しておりますが、厳しい競争環境の影響や気温の影響による暖房需要の減少などから、合計で15,268百万kWh、対前年伸び率△2.4%となりました。
(新型コロナウイルス感染症による影響：前年同期と同程度の△3億kWh程度)
- ・他社販売電力量は、卸販売が好調であったことなどから、合計で5,459百万kWh、対前年伸び率113.8%となりました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%	
小 売	低 圧	電 灯	5,726	6,009	△ 283	△ 4.7
		電 力	1,014	1,050	△ 36	△ 3.5
		計	6,740	7,059	△ 319	△ 4.5
	高圧・特別高圧		8,468	8,533	△ 65	△ 0.8
	小計(※1)		15,208	15,592	△ 384	△ 2.5
	その他(※2)		60	52	8	14.8
	合計		15,268	15,644	△ 376	△ 2.4
他社販売電力量		5,459	2,553	2,906	113.8	
小売・他社販売電力量合計		20,727	18,197	2,530	13.9	

※1 小計欄は、北海道電力(株)の販売電力量を示す。

※2 その他欄は、北海道電力ネットワーク(株)および北海道電力コクリエーション(株)の販売電力量を示す。

- ・ 泊発電所は全基停止していることに加え、出水率が95.9%と平年を下回りましたが、供給設備の適切な運用により、安定した供給を維持することができました。

(単位：百万kWh)

		当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)	対前年同期増減率%
発電 電 力 量	(出水率%) 水 力	(95.9%) 2,835	(89.9%) 2,800	(6.0%) 35	
	火 力	12,848	12,266	582	4.7
	(設備利用率%) 原 子 力	(-) -	(-) -	(-) -	
	新エネルギー等	78	95	△ 17	△ 17.4
	計	15,761	15,161	600	4.0
他社受電電力量※		7,355	5,389	1,966	36.5
揚 水 用		△ 160	△ 161	1	△ 0.7
合 計		22,956	20,389	2,567	12.6

※他社受電電力量には、連結子会社の北海道パワーエンジニアリング(株)およびほくてんエコエナジー(株)からの受電電力量が含まれている。

連結収支比較表（収益）

（単位：億円）

	当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
売 上 高	4,412	3,900	511	13.1	
電気事業営業収益	4,127	3,623	503	13.9	
2 社 合 計 ※					
電 灯 ・ 電 力 料	3,124	3,087	36	1.2	・燃料費調整額の増加
そ の 他	1,010	544	465	85.6	
地 帯 間 ・ 他 社 販 売 電 力 料 (再 掲)	639	239	400	167.6	・地帯間・他社販売電力料の増加 ・託送収益の増加
託送収益(再掲)	323	267	56	21.2	
子会社・連結修正	△ 7	△ 8	0	—	
その他事業営業収益	284	276	7	2.8	
営 業 外 収 益	46	13	32	237.4	・貸倒引当金戻入額の増加
経 常 収 益	4,458	3,914	544	13.9	

※ 2 社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結収支比較表（費用・経常利益）

（単位：億円）

		当第3 四半期連結 累計期間 (A)	前第3 四半期連結 累計期間 (B)	増 減 (A)-(B)	対前年同期 増減率%	主 な 増 減 要 因
電気事業営業費用		3,972	3,361	610	18.2	
2 社 合 計 ※	人 件 費	417	425	△ 7	△ 1.8	・退職給付費用の減少
	燃 料 費	932	577	354	61.4	・燃料価格の上昇
	購 入 電 力 料	747	414	333	80.5	・他社販売電力量の増加
	修 繕 費	437	516	△ 78	△ 15.3	・発電設備に係る修繕費の減少
	減 価 償 却 費	524	537	△ 12	△ 2.4	
	そ の 他 費 用	943	907	35	3.9	・情報処理費用の増加
子会社・連結修正		△ 31	△ 17	△ 13	—	
その他事業営業費用		251	250	0	0.0	
営業外費用		104	91	13	14.4	
	支払利息(再掲)	71	79	△ 7	△ 9.8	・金利の低下
経常費用		4,327	3,703	623	16.8	
経常利益		130	210	△ 79	△ 37.8	

※ 2社合計は、北海道電力(株)と北海道電力ネットワーク(株)の合計（内部取引消去後）の実績を表示している。

連結決算－セグメント情報

- ・北海道電力セグメントの売上高は、前年同期に比べ376億円増加の4,030億円となり、セグメント損益は、発電設備に係る修繕費の減少や好調な卸販売などによる収支の好転はありましたが、燃料価格の上昇などにより、前年同期に比べ99億円減少の149億円の経常利益となりました。
- ・北海道電力ネットワークセグメントの売上高は、前年同期に比べ235億円増加の1,759億円となり、セグメント損益は、新型コロナウイルス感染症の影響は縮小しましたが、気温の影響などにより電力需要が引き続き減少していることなどにより、前年同期と同程度の61億円の経常損失となりました。

(単位：億円)

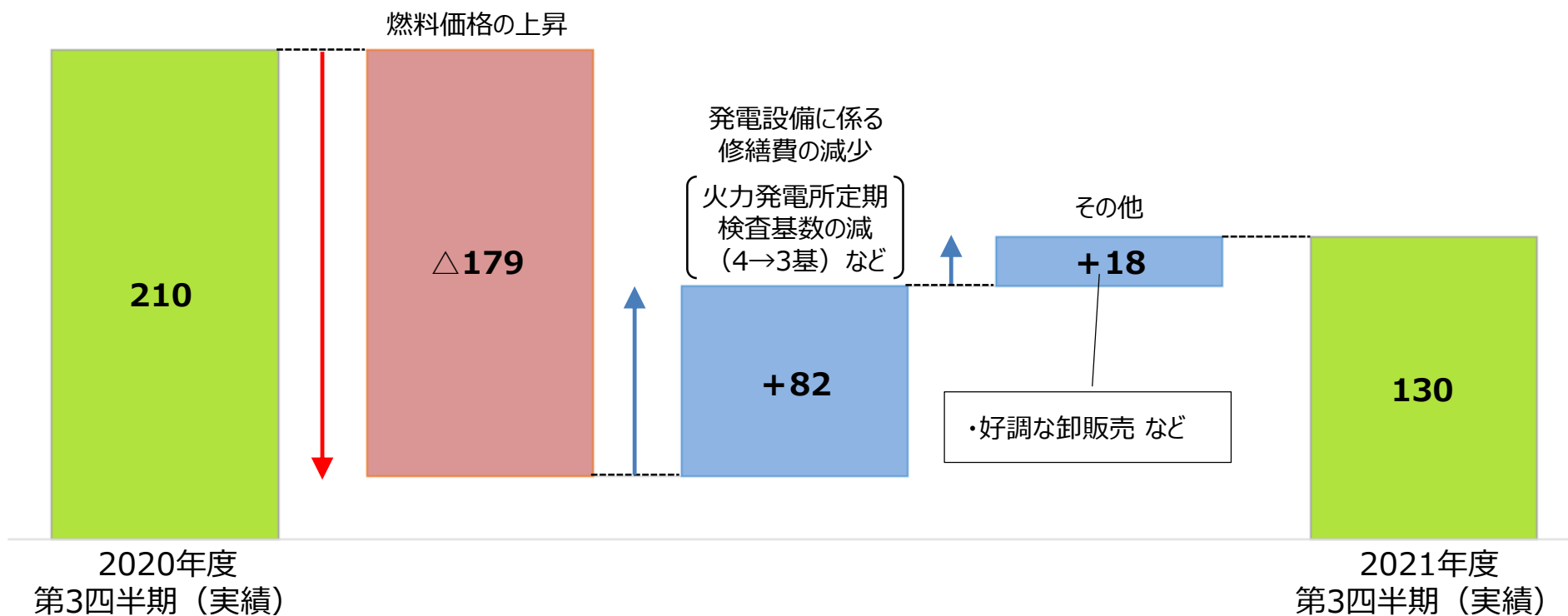
	当第3四半期 連結累計期間 (A)	前第3四半期 連結累計期間 (B)	増減 (A)-(B)
売上高	4,412	3,900	511
北海道電力	4,030	3,654	376
北海道電力ネットワーク	1,759	1,523	235
その他※1	938	975	△ 36
調整額※2	△ 2,317	△ 2,253	△ 64
セグメント損益（経常損益）	130	210	△ 79
北海道電力	149	248	△ 99
北海道電力ネットワーク	△ 61	△ 60	△ 0
その他※1	58	29	28
調整額※2	△ 15	△ 7	△ 7

※1「その他」は、「北海道電力」および「北海道電力ネットワーク」セグメント以外の、その他の連結子会社等の実績である。

※2「調整額」は、連結決算におけるセグメント間取引の消去額である。

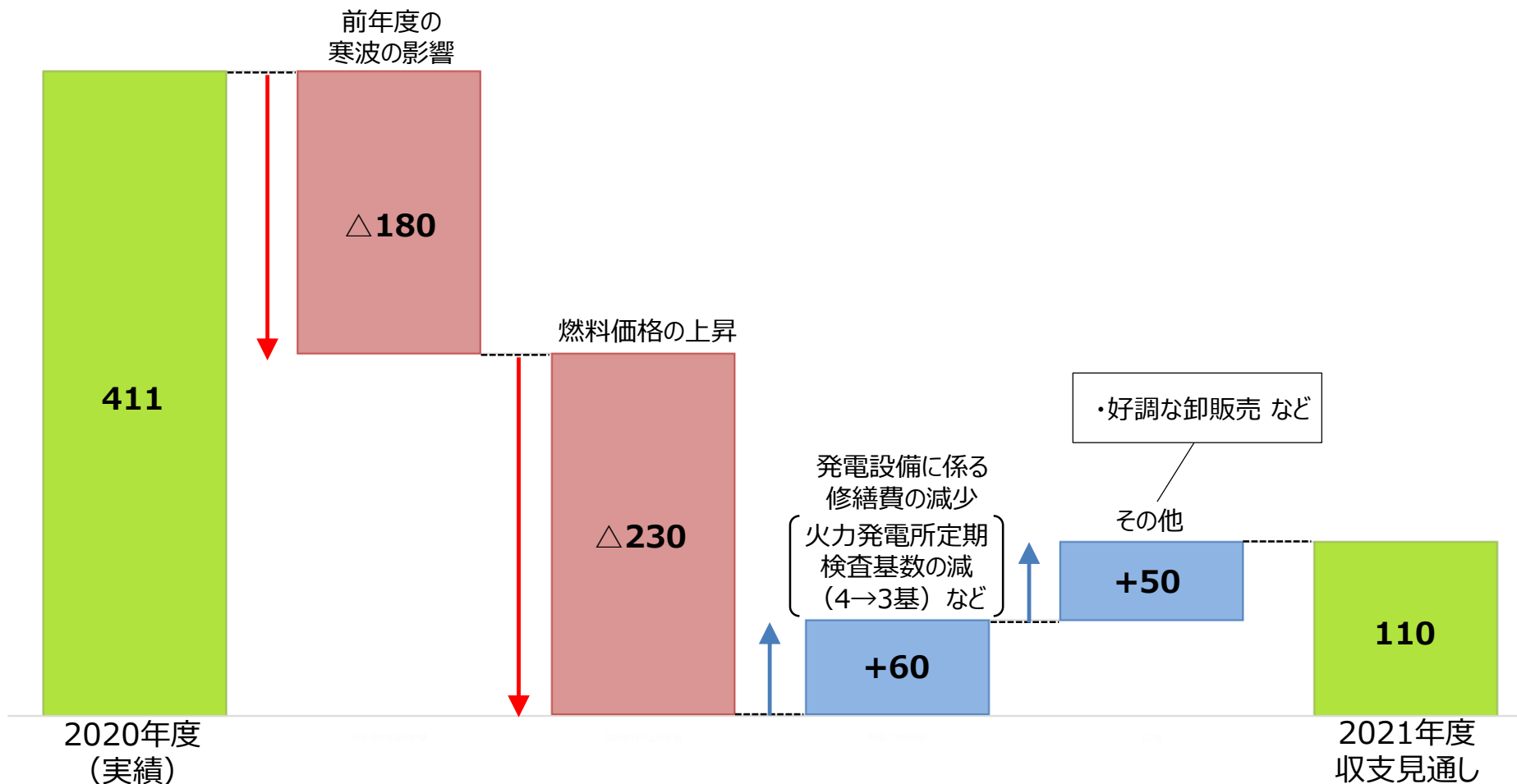
第3四半期（連結決算）－経常利益の変動要因（対前年同期比較）

（単位：億円）



連結業績予想－経常利益の変動要因（対前年度比較）

（単位：億円、億円程度）



(お問い合わせ)
北海道電力(株)広報部広報企画グループ
TEL : 011-251-4076 (直通)